

第134回教育研究会の報告(12/14開催)

「部下のほめ方・叱り方の極意」

部下育成のためには、時には厳しく指導する場面が多々あるが、「部下を叱るのが苦手だ！」こんな上司が増えているといわれている。部下に心地のよいことだけを言うことが上司の仕事ではない。どうすれば、自然に部下を上手に叱れるか。反面叱るだけでなく、上手にほめることも重要である。部下との信頼関係を強化する「ほめ方」「叱り方」について島田義也講師（島田教育総合研究所代表取締役）より具体的なお指導があった。



【ほめ方の注意点】

- ①小さな成長をほめる②その場ですぐにほめる
- ③外見や持ち物ではなく、人間性を認めるほめ方をする④「機嫌がよい時だけほめる」のではなく、常に平常心でいる⑤自分の都合でほめないこと
- ⑥条件付のほめ方はしない⑦特定の部下だけ連続してほめる場合は時と場所に注意する

【叱り方の注意点】

- ①教えていないことを叱ってはならない②段階を踏んで叱る③個性に合わせて叱る④「前向きな失

敗」は叱らない「不注意・怠惰・無責任」を叱る⑤事実にもとづいて叱る⑥人格を傷つけるような言葉は使わない⑦短時間で簡潔に⑧叱ったら後で必ずフォローする⑨勇気を持って叱る

講義は、想定事例に基づいて個人作業・グループ討議・全体発表・解説という手法により進められ、具体的で分かりやすいお指導であった。グループ討議による意見交換・情報収集が効果的であったと参加者からも好評であった。